

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

1. 開催日時 令和6年5月28日(火) 午前9時15分～午前10時30分

2. 場所 浦安市役所4階 災害対策本部室

### 3. 議題

- (1) 浦安市の情勢について
- (2) 浦安市の観光の現況について
- (3) 宿泊税の課税要件について
- (4) 宿泊税の用途の検討について
- (5) アンケート(案)・ヒアリング(案)の内容について

### 4. 議事の概要

(1) 浦安市の情勢について

- ・事務局説明
- ・委員長の補足説明

- ・ 浦安市への新税導入にあたっては、浦安市の財政力指数が非常に高い(1.43、千葉県内で最も高い)、つまり、財政的な力があるにも関わらず、新税を導入するのはなぜかという点が議論になる。
- ・ 財政力指数の分母は、国の積算値(「基準財政需要額」)である。資料で「需要/人」と示した指標は「基準財政需要額」を人口で除した値であり、国が必要と積算した住民一人当たりの浦安市の支出額で、浦安市は千葉県内(37市町村)で34位と低い。
- ・ 一方で、国が積算した「基準財政需要額」に対し、実際に浦安市が使ったお金は「経常経費充当一般財源」に該当する。この比(「充当倍率」)は1.75と千葉県内で最も高い。
- ・ 県下市町村と浦安市を比較すると、充当倍率が大きい成田市は、観光客が多いという点で共通しており、観光客対応に費用が生じる。住民一人当たりの「基準財政需要額」が浦安市と同水準である流山市では、「充当倍率」は高くない。これより、観光が財政に差異を生じさせていることが考えられる。
- ・ 行政改革の中で経費削減が進められている。加えて、歳入増加にむけ、駐車場有料化など検討が進められている。
- ・ 以上を踏まえると、浦安市は財政力指数で見るほど財政的に余裕がなく、支出も多い状況である。さらに今後、インフラ老朽化に伴う負担増加が危惧される。浦安市の財政状況を認識した上で、宿泊税の検討を進めて頂きたい。

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

### ▶ 委員

- Q. 観光客が多い地域が「需要/人」と「充当/人」の差が大きくなる傾向にあるのか。

### ▶ 委員長

- A. そのような傾向にある。私が意見交換をしている他の自治体においても、観光客が多い自治体では同様の傾向が見られる。国が想定する財政需要は定住人口で考えており、観光客分はあまり考慮されていないため、差が大きくなる傾向にあると想定される。

### (2) 浦安市の観光の現況について

- ・事務局説明

### (3) 宿泊税の課税要件について

### (4) 宿泊税の使途の検討について

- ・事務局説明

### ▶ 委員

- Q. 主にオフィシャルホテルの集合体の立場であるため、千葉県においても宿泊税導入を検討していることで、現場からは、宿泊税が二重課税にはならないかという懸念が出ている。福岡県の例にならって、県税と市税を足したものが他の自治体を超えることが無いことが望ましい。そのような方向で、今後の検討を進めてほしい。

### ▶ 委員長

- A. ご指摘は、宿泊税導入を具体的に検討する段階になると、十分に検討する必要が出てくる観点である。特別徴収では、宿泊施設が宿泊者より税徴収し、市に納めてもらうことになるため、現場への負担は大きくなる。その手続きの中で、市税・県税の分けが出てくると手間がかかるものになる可能性があるため、検討課題のひとつである。

### ▶ 委員

- ・観光コンベンション協会では、宿泊税を活用した観光振興をやりたいという流れになっている。
- ・教育旅行マーケットは価格に対してシビアであり、TDR訪問を含む教育旅行において、宿泊税課税が競合都市（横浜、東京都内）との競争に与える影響を危惧している。（教育旅行を契機に）中学生・高校生の時に実際浦安市に宿泊する経験は、リピーター獲得にもつながる。
- ・資料に「宿泊税による好循環」と記載がある。これまで来訪客はTDRにきてそのまま帰ってしまうことが多かったが、最近はインバウンド客が増加し、宿泊も増えている。街なかの魅力向上や観光消費の創出が重要となるため、今後、協会として力を入れていきたい。

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

- ・ 宿泊税の使途案に、コンテンツ開発（アート、スポーツ、食、歴史など）や世界に情報発信できるようなくみづくりについても検討してもらいたい。
- ▶ 委員長
  - ・ 宿泊税導入によって浦安市の観光を盛り立てることは至極当然な意見である。一方で、財政状況の厳しさが宿泊税導入の背景にあることから、新たな事業にどの程度投資できるかは課題であり、今後の議論も必要となってくる。ただ、浦安市の財政状況については、念頭に置く必要がある。
- ▶ 委員
  - Q. 宿泊税は宿泊しないと発生しないが、実際の宿泊者の中でインバウンド客の割合はどのような状況か。
- ▶ 委員
  - A. 現時点では宿泊者数では10%程度であり、宿泊数の割合では、宿泊者数の割合よりも上振れするイメージ。連泊率は舞浜ホテルでは1.4泊程度。また、連泊率は上がってきている。今後の東京ディズニーリゾートの施策においてもエリアの拡張もあり、連泊して楽しんでいってもらおうという方向にあり、それにともない連泊率もあがるものと考ええる。
- ▶ 委員
  - Q. 宿泊税の課税対象となる宿泊施設では、民泊やバケーションレンタルの宿泊者も対象に含まれるのか。
  - Q. 特別徴収は一般的なものなのか。特別徴収義務者には、手続きに伴う負担が出てくるが配慮やインセンティブ、システム更改の補助金等、行政からの支援はどのように考えているか。過去に特別徴収業者から行政が訴えられた裁判の事例があるとの資料を拝見したことがある。
  - Q. 観光目的以外の宿泊客であるビジネス利用客や課税免除をどう考えるのか。
    - ・ 宿泊税導入においては、資金使途の明確化が非常に重要である。使途案では、上段に受入環境の整備が、下段に消防インフラ整備が示されている。実態はインフラ整備などに費用が掛かるかもしれないが、受入環境整備を上段に示すのは良いことである。
    - ・ 千葉県の宿泊税使途案では、宿泊施設の人材育成・人材確保、人手不足解消に向けた取組みもあげられており、県と市との使途の違いを感じた。
- ▶ 委員長
  - ・ 納税義務者について、民泊の取り扱いが課題となると考えている。
  - ・ 特別徴収という形が多く採用されているが、徴収義務者の負担は大きくなる。今後検討する項目として、インセンティブである特別徴収交

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

付金が示されている。

- ・ 宿泊税の用途明確化が導入に説得力をもたらす。税収シミュレーションで一番高い 200 円を採用しても（税収は）15 億円程度であることが個人的に気にかかる。浦安市の財政状況を鑑みると大きいとは言えない額。（現在宿泊税導入を検討している）千葉県と浦安市で税収を分けるとなると、浦安市分はさらに低額となり、期待ほど税収は見込めなくなる。浦安市における経常経費充当一般財源は 400 億超あるという前提の上で、用途を考える必要がある。

### ▶ 委員

Q. 浦安市のオーバーツーリズムの現状について教えてほしい。

### ▶ 委員

- A. 舞浜地区はオーバーツーリズムの影響が生じていると考える。朝晩の交通渋滞が激しく、タクシーが全く捕まらない。（東京ベイ舞浜リゾート地域）協議会では、宿泊税の用途の中でも渋滞の解消について非常に注目している。観光客を市中心部に誘客しても、市内を縦に動く交通手段が非常に乏しいという現状は解消されるのか。一時期は、舞浜大橋を東京側から渡るのに 1 時間かかるという状況も発生していた。
- ・ 協議会では、観光庁の補助金交付事業（オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業）を活用できないかという意見も出ていた。

### ▶ 委員長

- A. 観光対策に関連する宿泊税の用途や観光庁の補助金交付事業なども活用して検討できないか、という意見をいただいた。次回以降検討してほしい。

### ▶ 委員

- ・ 前職（航空会社）で、出国税（国際観光旅客税）導入検討のヒアリングを受けた際、インフラ等環境整備に用いること、需要を増やす方向にもっていくこと、税額が需要を減らさないこと、オペレーションがしやすいようにすること、という意見を述べた。（宿泊税導入の）前例もいくつか出ているため、やり方を参考にしようまくできるように検討してほしい。

### ▶ 委員

- ・ 宿泊税導入にあたっての事前告知は重要で、しっかり市が主導して説明してほしい。宿泊者が現地に来てからわかる、ということがないようにしてほしい。

### ▶ 委員長

- ・ 導入までのプロセスが重要であるというのは、個人的にも感じているところ。現時点で考えられる課題は全部洗いだして検討していきたい。

### ▶ 委員

- ・ これから観光コンベンション協会では、宿泊税に関して協会員への説明やヒアリングをする予定としている。資料に記載されていない事項

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

に関する要望が出てきたら、検討委員会の場で申し上げるということでいいか。

➤ 委員長

- ・ ご指摘の通り、この検討会の場で取り上げることになると思う。

### (5)アンケート（案）・ヒアリング（案）の内容について

➤ 委員

- Q. 千葉県でも宿泊税の議論が進んでいると思うが、どれくらい進んでいて(千葉県と浦安市が)調整ができているのか。
- Q. これから観光コンベンション協会では、商工観光課と協力して会員への説明、意見収集を行うつもりである。ヒアリング方法などすりあわせができたらと思っている。

➤ 事務局

- A. 千葉県でもアンケートがはじまっていることは承知しており、今後調整・情報共有していきたいと考えている。

➤ 委員長

- Q. 宿泊者を対象にしたアンケートは具体的にはどのように実施予定か。

➤ 事務局

- A. 具体的な実施方法についてはまだ検討段階だが、宿泊事業者に協力を依頼し、アンケート回答用のQRコードをフロント等に設置する。宿泊者にはQRコードから、アンケートフォームにアクセスしてもらい、回答いただくことを検討している。アンケートフォームは県のシステム等を用いたい。

➤ 委員

- Q. 宿泊事業者に対するヒアリングは、どの事業者に対して実施するのか。
  - ・ アンケート回答期間を6月～7月としているが、6月は修学旅行生が多くを占めており、本アンケートに有効なサンプル数は少なくなると考える。

➤ 事務局

- A. ヒアリングは市内すべての事業者を対象として実施を検討している。

➤ 委員長

- ・ 宿泊者の意見をただ聞くだけだと、反対意見が多くなりがちであるため、浦安市の状況を説明して、宿泊税導入が必要だということを申し上げる必要がある。アンケートのやり方を工夫する必要があり、例えば質問項目を絞って、説明を多くするというような配慮も考えられる。次回委員会を待たず、アンケート項目案等についてはメール審議とする。

## 第1回浦安市宿泊税導入検討委員会 議事要旨

委員長

- ・千葉県において宿泊税導入を検討している部署等と調整は可能か。(千葉県と浦安市が) 別個に検討を進めるとなると難しいと思う。

### 6. その他

- ・次回以降の会議日程を以下のように決定した。

第2回：8月19日(月) 13:30～

第3回：10月21日(月) 10:00～

第4回：11月26日(火) 10:00～

以上